

## 本事例の基礎データ

カテゴリ	文字入力（タイピング）に関する指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	八王子市立横川小学校
学年	特別支援学級	教科等	学級活動
単元名	うたのかしをスライドにまとめよう		
主な ICT 機器	・タブレットPC（キーボード付き Chrome OS 機／一人 1 台）		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手書き入力で歌の歌詞を入力する。</li> <li>・画像を取り込み、スライドに貼り付ける。</li> </ul>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	基本的操作	STEP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影などの基本的操作ができる</li> <li>・画像検索ができる</li> </ul>

## 本事例における教育の情報化について

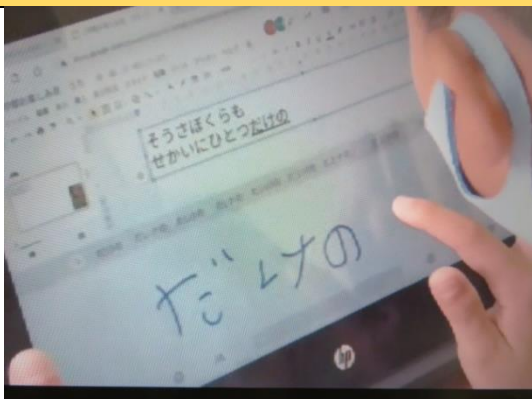
【ポイント 1】	<p><b>特別支援学級における一人 1 台のタブレットの活用</b></p> <p>個々の課題に応じて活動を工夫している特別支援学級であるが、LD や書字障害を抱えている児童も少なくない。このような児童にタブレットは非常に有効である。</p>
【ポイント 2】	<p><b>Google Workspace for Education Classroom の活用</b></p> <p>Google の「スライド」は共同編集が可能であり、複数の児童が分担、協力して作品を作ることができ、協働的な学びを実現できる。</p>
【ポイント 3】	<p><b>Chromebook の手書き入力機能の活用</b></p> <p>キーボード入力を困難に感じる児童でも、手書き入力機能を使うことで、文字入力を行えるようにする。</p>

## 本時の流れ

段階	● 主な学習活動・児童の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 学期のお楽しみ会に向けて仕事の分 担を確認する。</li> <li>・ 各自の分担について、どんなことに取 り組むのか、課題を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分担された仕事を意識させて、自分の 役割をしっかりと果たせるように意識 付けを行う。</li> </ul>
うたの かしを スライドに まとめよう。		
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2人で分担して、歌の歌詞をスライド に入力する。</li> <li>・ Chromebook で、手書き入力機能を使 って歌詞を2人1組でスライドに入 力する。</li> <li>・</li> <li>● スライドの全体の手直しをする。</li> <li>・ 歌詞だけでなく、どのように歌うかの 注意書きや、イメージ写真の挿入な ど、紙面を工夫する。</li> <li>● 画像を検索し、取り込んで、スライド に貼り付ける。</li> <li>・ Google 検索を音声入力機能を使って 行い、歌詞のイメージに合う写真を選 択し貼り付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が楽しく活動に取り組めるように 声掛けを行う。</li> <li>○ 必要に応じて平仮名の正しい書き順を 指導するが、本人のやる気を重視して 指導するようにする。</li> <li>○ スライドショーを拡大投影装置で投影 し、歌詞以外にも必要なものを考える ことができるよう支援する。</li> <li>○ 画像の貼り付け方、動かし方、大きさ の変え方などを説明する。</li> <li>☆ 意欲的に係の活動に取り組むことが できている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今日までの作業のスライドを見て振り 返る。</li> <li>・ 作業の進捗状況を確認し、次時への見 通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協力して活動し、完成に近付いている ことを称賛し、次時へのやる気を喚起 するようにする。</li> </ul>

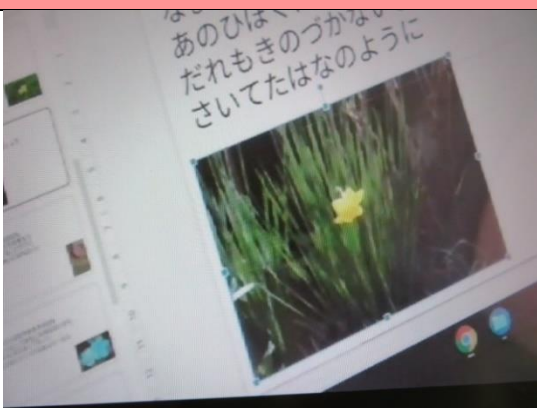
## 授業の実際

### 【ポイント1】 ●手書き入力で抵抗なく文書作成ができる。



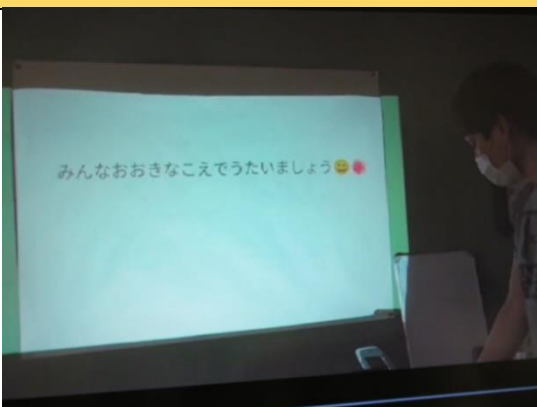
キーボード入力が難しくても、手書き入力でも文書を作成することで、抵抗なく文字入力を行うことができました。

### 【ポイント2】 ●画像を検索し、取り込み、スライドに貼り付ける。



スライドに文字だけでなく画像も取り入れたい時に、使いたい画像を検索し、取り込み、スライドに貼り付けた。ピンチイン、ピンチアウトによって画像の大きさを変えたり、位置を動かしたりして工夫した。

### 【ポイント3】 ●スライドを拡大投影装置で投影し、完成作品を鑑賞する。



完成したスライドを友達と互いに鑑賞することで、お互いに励まし合ったり、改良点を見付けたりして、協働的に活動を進めることができました。

## 今後に向けて

### ●入力方法を広げるために必要な取組を試みる。

手書き入力や音声入力などとともに、キーボード入力の練習も行い、多様な入力方法を学ぶ機会をつくる。

### ●書字障害、LD児など書くのが苦手な児童のコミュニケーションツールとして活用する。

児童の困り感を明確にして、学習者用端末をコミュニケーションツールとして児童の特性に応じた指導や支援を行うために活用する。